



# 緑豊かな環境で、安心して子育てができる八千代市に

31年第1回定例市議会は、2月19日～3月20日に開催されました。服部友則市長が開会日に施政方針と31年度予算編成について述べました。

## ■施政方針

私が市長に就任して以降、選挙で掲げました「緑豊かな環境で、安心して子育てができる八千代市に」、また、第4次総合計画の将来都市像である「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市八千代」の実現を目指し、誠心誠意、市政の運営に当たってまいりました。皆様のご理解、ご協力に深く感謝を申し上げます。

現在の日本の景気は、戦後最長の景気回復の長さになっているといわれています。しかしながら、海外経済の不透明性や10月に予定されている消費税10%への引き上げを踏まえると、今後も回復基調が続くと楽観せず、将来を見据えた持続可能で堅実な市政運営を行う必要があります。「選択と集中」「スクラップ・アンド・ビルド」を徹底するなど、平成31年度の当初予算編成に当たり、厳しい判断が求められました。

予算案のうち、新たな取組みの一部を申しますと、自転車と歩行者の安全通行のため、駅や公共施設等を拠点とした主要路線に自転車通行帯を整備すること、公共交通の利便性向上のため、京成電鉄が行う八千代台駅西口のエレベーター設置や東洋バスが行うICカードシステム整備に対して補助すること、歩行者の安全確保や円滑な救援活動などを行うため、道路沿いに設置された民間ブロック塀などの撤去費用を補助することを盛り込みました。そのほか、新庁舎を建設するための基本設計の策定、既存の公共施設を適正・効率的に管理するため、公共施設等総合管理計画を改定し、新たに個別施設計画を策定するほか、包括施設管理を実施します。

また、市の最上位計画である「第4次総合計画」は、2020年度が最終年度となることから、31年度から2年にわたり、次期総合計画の策定に着手します。これらの施策を効果的に実施し

ていく第一歩として、31年度のスタートに合わせて組織機構改革を行い、企画部門の独立、少人数課の解消、複数部署に分散した事務の統合、一定の役割を終えた部署の廃止や教育行政の一本化を図るなど、市民に分かりやすく、職員も働きやすい組織体制を目指すとともに持続的な市政の発展に向けて取り組んでいきます。

## ■予算編成と規模

本市財政における今後の見通しは、歳入では、景気の回復や緑が丘西地区の人口増加を背景として、引き続き市税は堅調に推移すると見込まれるものの、地方交付税及び臨時財政対策債に係る動向には不透明な部分も多く、引き続き注視していく必要があります。歳出では、扶助費や物件費などの経常的経費が増加基調で推移し、市庁舎を始めとした公共施設や道路・橋梁の老朽化対策に係る経費に加え、消費税率の引き上げに伴う影響なども歳出圧力として見込まれ、本市の財政状況は依然として厳しい状況です。

また、31年度当初予算編成に当たっては「財政運営の基本的計画」の中長期財政収支見通しにおいて、大幅な歳出超過が見込まれていること、経常経費のさらなる縮減を講じない限り、経常収支比率の上昇は避けられず、投資的経費や新規事業に取り組む財源を確保することが困難な状況となっています。

このことから、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し「最少の経費で最大の効果」を挙げるため、全ての事業について緊急性や必要性、費用対効果を十分に検証した上で見直しに取り組むこととし、将来を見据えた持続可能な財政運営を推進するため、基本的方針として「第4次総合計画後期基本計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の検証と着実な推進」「喫緊の行政課題への的確な対応」「行財政改革の積極的な推進」「使用料・手数料の見直し」「補助金等の見直し」の5項目を掲げ編成を行いました。

一方、国の地方財政に関して、昨年12月に公表された「平成31年度地方財政対策の概要」に

おいて、地方税、地方譲与税、地方特例交付金が昨年度に引き続き増えたことなどにより、一般財源総額は、30年度を約5,900億円上回る約62兆7,000億円が確保されました。

また、地方交付税の総額は、前年度に比べ約2,000億円増え、赤字地方債である臨時財政対策債は、前年度に比べ約7,000億円減りました。

本市の予算の概要を申し上げますと、歳入面では、前年度当初予算と比較して、自主財源において、景気回復や緑が丘西地区の人口増加を背景に市民税、固定資産税などで増を見込んでいます。

依存財源については、消費税率引上げによる地方消費税交付金や国庫支出金、県支出金で大幅な増となりました。また、市債は、臨時財政対策債や教育債が大幅な減となったことにより、元金償還額を下回る発行予定額となりました。

なお、不足する財源については、臨時財政対策債の活用のほか、財政調整基金繰入金等により財源を確保しました。

歳出面では、義務的経費のうち、人件費は減ったものの、扶助費、公債費が増えたことにより、義務的経費全体では大幅に増加しました。

また、小中学校校舎トイレ改修工事に係る実施設計、みどりが丘小学校校舎等買収費などの普通建設事業費が減ったものの、保育園等運営費補助金や、小中学校のICT教育に対応した教育ネットワークシステムの運用管理に伴う補助費等及び物件費が大幅に増えました。

その結果、31年度当初予算の規模は、一般会計は568億5,000万円で、前年度当初予算と比較すると、13億1,200万円、2.4%の増となりました。

特別会計では、介護保険事業特別会計の保険給付費等が増えたことなどにより、4つの特別会計の総額は、320億1,599万1,000円で、前年度比0.7%の増、公営企業会計では、水道事業会計と公共下水道事業会計の合計が115億9,629万3,000円で、前年度比13.0%の減となりました。

また、一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた市全体の予算規模は、前年度比0.2%減の1,004億6,228万4,000円となりました。

## 募集 委員会・審議会などの市民委員

市内在住の成人で、本市の審議会などの委員を5つ以上兼ねていない人が対象です。書類選考を行い、結果は応募者本人に通知します。応募は、各担当課へ持参、郵送のほか、市ホームページ「市民委員の公募」からもできます。応募書類は非公開、返却しません。個人情報保護・管理に十分留意し、選考以外に使用しません。提出書類に虚偽の記載が認められた場合は、委員就任後であっても委嘱を取り消すことがあります。

### ■公民館運営審議会委員

▼資格 年2回程度行う平日昼間の会議に出席できる人 ▼募集人数 2人 ▼任期 7月23日(火)から2年間 ▼報酬 会議1回につき7000円 ▼応募方法 5月8日(水)必着で、任意のA4用紙に、住所・氏名(フリガナ)・電話番号・生年月日・年齢・性別・主な職歴・応募理由を記入し、「人生100年時代における八千代市の社会教育」と題した800字程度の作文を添えて、〒276-1004 5大和田138-2 教育委員会庁舎生涯学習振興課へ持参または郵送 ▼問い合わせ 生涯学習振興課 ☎(481)0309

### ■社会教育委員

▼資格 年1回程度行う平日昼間の会議に出席できる人 ▼募集人数 2人 ▼任期 7月23日(火)から2年間 ▼報酬 1回につき7000円 ▼応募方法 5月8日(水)必着で、任意のA4用紙に、住所・氏名(フリガナ)・電話番号・生年月日・年齢・性別・主な職歴・応募理由を記入し、「人生100年時代における八千代市の社会教育」と題した800字程度の作文を添えて、〒276-1004 5大和田138-2 教育委員会庁舎生涯学習振興課へ持参または郵送 ▼問い合わせ 生涯学習振興課 ☎(481)0309

### ■図書館協議会委員

▼資格 年1回程度行う平日昼間の会議に出席できる人 ▼募集人数 3人 ▼任期 7月23日(火)から2年間 ▼報酬 会議1回につき7000円 ▼応募方法 4月2日(火)～5月8日(水)必着で、任意のA4用紙に、住所・氏名(フリガナ)・電話番号・生年月日・年齢・性別・主な職歴・応募理由を記入し、「私が考える図書館の魅力について」と題した800字程度の作文を添えて、〒276-1002 8村上2510 中央図書館 図書館協議会事務局へ持参または郵送 ▼問い合わせ 中央図書館 ☎(411)8644

### ■八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員

▼資格 年4回程度平日の日中または夜間の会議に出席できる人 ▼募集人数 4人 ▼任期 6月15日(土)から2年間 ▼報酬 会議1回につき6000円 ▼応募方法 5月7日(火)必着で、任意のA4用紙に、住所・氏名(フリガナ)・電話番号・生年月日・年齢・性別・主な職歴・健康づくりに関する活動経歴を記入し、「みんなが健康に暮らせるまちづくり そのために私ができること」と題した800字程度の作文を添えて、〒276-1004 2ゆりのき台2-10 八千代市保健センター健康づくり課へ持参または郵送 ▼問い合わせ 健康づくり課 ☎(483)4646